避難情報が見直されました!

危険な場所から

「避難指示」で必ず避難!

令和３年５月、「災害対策基本法」が改正され、避難情報等が見直されました。これまで、**警戒レベル4は「避難勧告」と「避難指示」に分けて発令されていましたが、「避難勧告」は廃止され、「避難指示」という名称に一本化されました。**

問い合わせ先 防災課防災係 ☎5608-6206

警戒レベル	取るべき行動	新たな避難情報等
5	すでに災害が発生、または切迫している状況です **命を守る最善の行動を!**	緊急安全確保（きんきゅうあんぜんかくほ）
	警戒レベル4までに、危険な場所から必ず避難!	
4	危険な場所にいる場合は**全員速やかに避難を!**	避難指示（ひなんしじ）
3	危険な場所にいる場合は**高齢者等避難に時間を要する方は避難開始。**そのほかの方は、避難の準備を整えましょう	高齢者等避難（こうれいしゃとうひなん）
2	避難に備え**避難行動を確認**	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	**災害への心構えを高める**	早期注意情報（気象庁）

区からの避難情報等はこちらから

防災行政無線

区ホームページや、すみだ安全・安心メール、区公式フェイスブックでも発信します。

また、放送終了後2時間以内であれば、**防災行政無線電話応答サービス ☎5608−6274**でも確認できます。

すみだ安全・安心メール

登録方法

✉ s.sumida-city@raiden2.ktaiwork.jp に、空メールを送信(右のコードを読み取ることで、メールの送信画面に接続可)。

コード

問合せ 安全支援課安全支援・空き家対策係 ☎5608−6199

テレビ

地上デジタル放送のNHK総合テレビ視聴時に、リモコンの「dボタン」を押し「地域の防災・生活情報」を選ぶと、区の避難情報等を確認できます。

区ホームページ、区危機管理エックス、区公式フェイスブック

ホームページ　危機管理エックス　フェイスブック

水害ハザードマップを確認しましょう

「墨田区水害ハザードマップ」では、浸水の範囲や深さ、継続時間の情報を掲載しています。

また、まちづくりマップでは自分の住んでいる地域の浸水情報が確認できますので、ご活用ください。



確認のポイント

- □自宅が浸水するおそれがあるか
- □どれくらいの深さまで浸水するか
  (それが自宅の何階相当なのかも要確認!)
- □浸水はどれくらい継続するか

配布場所 防災課(区役所5階)、各出張所
*区ホームページからも出力可(右のコードを読み取ることでも接続可)

墨田区水害ハザードマップ

区民の皆さんからのよくある質問

Q 避難所には何を持っていけばいいの?

通常想定される非常持ち出し品に加え、 感染症予防に関する衛生用品もご持参ください。日頃から準備しておきましょう。

- □食料　□常備薬
- □飲料水　□保険証
- □毛布　□室内履き(スリッパ)
- □着替え　□モバイルバッテリー
- □マスク　□体温計
- □消毒液　□タオル

感染症予防に関する衛生用品

※上記は一例ですので、各自で必要と思われるものをご用意ください。

Q ペットは避難所に連れて行っていいの?

避難所への同行避難が可能です。ただし、動物が苦手な方やアレルギーがある方などが避難されることも想定されるため、ペット専用のスペースを設けます。また、避難の際は、必ずケージやリード、ペット用のエサ・水・トイレ用品等をご持参ください。

大規模な水害に備えましょう

災害時における避難は、避難所での混雑を避けるため、避難所以外の場所に避難をする**「分散避難」**も含めて検討する必要があります。いざというときにどのように行動するのか、家族などで話し合い、事前に決めておきましょう。

問い合わせ先 防災課防災係 ☎5608-6206

避難所へ行くことだけが避難ではありません。「分散避難」の検討をしましょう。

1 在宅避難

在宅避難とは、災害時において自宅に倒壊や焼損、浸水、流出の危険性がない場合に、そのまま自宅で生活を送る方法です。**P7の確認のポイントを参考に、水害ハザードマップで自宅の状況を確認しましょう**。また、在宅避難を行う場合には、ライフラインが一定期間途絶えても生活できるように生活必需品の備蓄が必要になります。区ホームページに「在宅避難の備え」を掲載していますので、ご確認ください(右のコードを読み取ることでも接続可)。

コード



ライフラインが止まっても生活ができるように簡易トイレやガスコンロを備蓄しよう。

2 縁故避難

縁故避難とは、安全な場所にある親戚・友人宅などに避難をすることです(安全な場所にある勤務先も縁故避難に含む)。水害ハザードマップで避難先が安全な場所かどうかを確認し、普段から災害時の避難に関して、親戚・友人などとよく相談をしておきましょう。



おばあちゃん、今度の台風が心配なので、そっちに避難しても良い？

水害ハザードマップを見て、うちは安全な場所だと確認したよ。家族でおいで。



3 避難所への避難

在宅避難や親戚・友人宅などへの避難が難しい場合は、区が指定した**避難所など安全な場所へ避難**してください。最寄りの避難所を事前に確認しておきましょう。

また、避難所の備蓄物資には限りがあります。自身の健康管理のため、マスクや体温計を持参するなど、可能な限り必要な物資を持参して避難するようご協力をお願いします。





食料は火やお湯、電気を使わない物を自分で準備しよう。それと、避難所で携帯電話を充電できるとは限らないので、モバイルバッテリーを持っていこう。

Check! 避難所の受け付けの流れ

はじめに、避難者の受け付けをします。

次に、感染症拡大防止のため、避難所に避難をした体調不良の方に検温を実施します。結果によっては、通常の避難スペースとは異なるスペースへご案内する場合があります。

なお、避難スペースは体育館、柔剣道場、教室等の広いスペースから順次案内します。また、荒川氾濫の危険性が高まった場合には、余裕をもった早めのタイミングで避難所の上層階へ移動します。

New! 避難所の混雑状況

区内の避難所の場所や開設状況、混雑状況、現在地からの経路が、リアルタイムで分かる区避難所開設状況システムを導入しました(下のコードを読み取ることでも接続可)。災害時は区ホームページや、区危機管理エックス、すみだ安全・安心メールでもお知らせします。

コード



注画像は災害時のイメージです。

㊟台風の状況により、以下のタイムライン（防災行動計画）と実際の流れは異なる場合がありますので、ご了承ください。

大規模な台風発生を想定したタイムライン（防災行動計画）

台風の上陸・接近により荒川が氾濫する可能性が低い場合

台風の上陸・接近により荒川が氾濫する可能性が高い場合

台風上陸・接近2日前まで

台風や大雨が来る前に限らず、日頃から備えておきましょう。



- □**水害ハザードマップ**で自宅がどれくらいの深さまで浸水するかを確認しましょう
- □小・中学校等の**最寄りの避難所を確認**しましょう
- □**避難する際の持ち物**や**自宅の備蓄**を確認しましょう
  備蓄については区ホームページを参照（右のコードを読み取ることでも接続可）
  日常備蓄
- □**情報の入手方法**を確認しましょう
- □**土のうを準備**しましょう
  土のうステーションの設置場所は区ホームページを参照（右のコードを読み取ることでも接続可）
  土のうステーション
- □**家の周りを点検**しましょう
  飛ばされやすいものは屋内に入れるか、しっかり固定しましょう

江東5区（墨田区・江東区・足立区・葛飾区・江戸川区）を出て、浸水のおそれがない地域へ避難する**広域避難**が**必要**となります。



江東5区が共同で、対応を検討
検討の開始を区ホームページ等でお知らせ

- □**すぐに避難できるよう、準備**を進めましょう

自主的広域避難情報が発令されなかった場合はこちら

各区が発表

検討の結果、自主的広域避難情報が発表されたら…

- □**できるだけ早く江東5区外の安全な場所へ避難**しましょう

この時点では、

徒歩　公共交通機関　自動車　での避難が可能

自動車は渋滞に注意!

上陸前日～当日

区が発令

高齢者等避難（警戒レベル3）が発令されたら…

【対象】避難に時間を要する方（高齢者など）、木造住宅等で風による被害が心配な方等

- □**対象の方は早めに避難**しましょう
- □それ以外の方は非常持ち出し品の準備を本格的に始めましょう

各区が発令

広域避難指示
（公共交通機関の計画運休前に発令予定）
が発令されたら…

- □**直ちに江東5区外の安全な場所へ避難**しましょう

この時点では、

徒歩　公共交通機関　での避難が可能

公共交通機関は計画運休に注意!

＊自動車での避難は、原則、要配慮者とその付添いの方のみ可能

上陸当日

区が発令

避難指示（警戒レベル4）が発令されたら…



【対象】区内にいる全ての方

- □**直ちに浸水想定以上の場所（浸水想定より高い最寄りの建物・自宅の居室、移動が可能であれば避難所）に避難**してください

警戒レベル5はすでに災害が発生している可能性が極めて高い状況です

各区が発令

域内垂直避難指示（緊急）が発令されたら…

- □**広域避難ができなかった場合は、直ちに浸水想定以上の場所（浸水想定より高い最寄りの建物・自宅の居室）に避難**してください



台風通過後

台風の通過後も注意！

河川の上流で降った雨が時間差で下流に流れ、氾濫を引き起こす可能性があるため、

⚠ **雨が止んだ後や台風の通過後も、河川が氾濫する危険があります！**

雨が止んだ後や台風の通過後も、すぐに気を緩めずに、引き続き避難情報などの情報を収集しましょう。